

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 10 月 5 日現在

機関番号：32649

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2012～2014

課題番号：24520714

研究課題名(和文) 韓国の小中学校の英語教育においてEBS e が果たす役割と日本への示唆

研究課題名(英文) Role of EBS English in Elementary and Junior High Schools in Korea and Suggestions for Japan

研究代表者

カレイラ松崎 順子 (Carreira Matsuzaki, Junko)

東京経済大学・公私立大学の部局等・准教授

研究者番号：40454186

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：韓国では小学校への英語導入以降、早期英語教育が過熱化し、特に、都市と地方において英語の学力格差が顕著にみられるようになった。これらの問題を解決するために韓国政府は2007年に英語の教育番組を専門に放送するEBS eを開始した。さらに、私教育費軽減のために行われている「放課後学校」のための教材として、EBS eは「EBS English放課後英語教室」を開発し、2011年9月にその運営を開始した。本研究では「EBS English放課後英語教室」を使用している小学校において質問紙調査や授業見学を行い、多くの児童が「EBS English放課後英語教室」を楽しみながら学習していることを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：To reduce educational gaps separating income groups, and those between urban and rural areas, the Korean government established the Korean Educational Broadcasting System English (EBS e) in 2007. Furthermore, EBS e developed the EBS English After-school Program in 2011.

This study examined how Korean elementary school students evaluated the EBS English After-school Program. The research was conducted at an elementary school that introduced EBS English After-school Program into the curriculum after school. The participating students were 84 third-grade elementary school students (39 boys, 45 girls). Over 60% of the participating students thought that the EBS English After-school Program was important and necessary for them. They also evaluated the EBS English After-school Program as above average in terms of Attention, Relevance, and Satisfaction of the ARCS motivation model.

研究分野：英語教育

キーワード：韓国 ICT 小学校 英語教育 放送番組

1. 研究開始当初の背景

同じアジアである韓国は、小中高一貫の教育課程の確立、国定教科書や教材の開発、充実した教員養成、研修制度など周到な準備のもと 1997 年に英語教育が小学校に導入された。しかし、小学校への英語導入以降、早期英語教育が過熱化し、特に、都市と地方において英語の学力格差が顕著にみられるようになった。また、韓国では収入の違いが教育機会の不平等を招くといういわゆる教育格差が大きな社会問題となっている。

これらの問題を解決するための手段として注目されたのが、ICT(情報通信技術)を使った学習教材であり、韓国政府は Korean Educational Broadcasting System(韓国教育放送公社)の発展に力を注ぎ、2007 年に英語の教育番組を専門に放送する EBS English(EBS_e)を開始した。

さらに、私教育費軽減のために行われている「放課後学校」のための教材として、EBS_eは「EBS English 放課後英語教室」を開発し、2011 年 9 月にその運営を開始した。「EBS English 放課後英語教室」は 2007 年改訂教育課程や検定教科書にそって制作されており、また、国家英語能力評価試験にも対応している。

各学年は 2 つの段階に分かれており(小学校 12 段階・中学校 6 段階)、各自が簡単な試験を受け、実際の学年に関係なく、レベルにあった段階から学習を始めることになっている。また、番組を視聴するだけでなく、WEB 上で 4 技能および語彙・フォニックスも段階別に学習できる。さらに、正規の授業との関係を強化し、多様な教授・学習資料(クリップ型講義動画、フラッシュ、アニメーションなどウェブコンテンツ)、評価質問項目、英会話・英作文練習プログラムなどを開発して提供している。

2. 研究の目的

韓国は教育格差・地域格差を軽減するために、政府主導のもと英語教育に ICT を積極的に取り入れ、特に、英語の教育番組 EBS_e の開発に力を注いできた。日本も教育格差・地域格差が問題になりつつある。ゆえに、本研究では 2011 年 9 月に運営を開始した「EBS English 放課後英語教室」とそれらを使用している小学校で調査を行い、「EBS English 放課後英語教室」の小学校における役割や効果、また、問題点について検討し、日本の英語教育に示唆を与えていく。

3. 研究の方法

- ・ 「EBS English 放課後英語教室」を視聴し、各レベルの特徴を明らかにする。
- ・ 「EBS English 放課後英語教室」を使用している小学校において ARCS モデルをもとにした質問紙調査を行う。ARCS モデルは、学習意欲を「注意」(Attention)、「関連性」(Relevance)、「自信」(Confidence)、および「満足感」(Satisfaction)の 4 側面からとらえ、学習者のプロフィールや学習課題/環境の特質に応じた意欲喚起の方略をシステム的に取捨選択して教材に組み入れていこうとするものであり(鈴木, 1995)、Keller(1983)によって提唱された。

4. 研究成果

「EBS English 放課後英語教室」の正規課程全体的な特徴

- ・ Level 1 以外は 2007 年改訂教育課程にそって作成されており、学校の英語の授業を補完する番組である。
- ・ 番組の視聴した後にそれに関連したゲームを行うようになっている。
- ・ 韓国人講師が韓国語と英語で説明しながら番組を進めており、学校で授業を受けているような雰囲気である。特に、Level が上に行くにしたがって、韓国語

での文法説明が丁寧に行われている。

・ 学校で教員より授業を受けているような構成になっており、塾などに行かなくても、児童が1人で自分のレベルにあった学習ができるようになってきている。小中学校の連携もスムーズに出来ており、児童の認知や興味に合わせて制作されている。

各レベルの特徴

Level 1 (小学1・2年生レベル)

- ・ フォニックス中心である。
- ・ アニメが多く使われている。
- ・ 韓国人講師が韓国語でアルファベットやフォニックスの説明を行いながら講義を進めている。

Level 2 (小学3・4年生レベル)

- ・ 2007年改訂教育課程にそって番組が作られており、日常生活の簡単な表現が多い。
- ・ アニメと英語母語話者によるスキットが多い。
- ・ Level 1 と比べて英語が多く話されている。

Level 3 (小学5・6年生レベル)

- ・ 2007年改訂教育課程にそって番組が作られており、簡単な対話を聞いて理解したり、話したりする問題が多い。
- ・ Level 2 よりもかなり長い英文が話されている。

Level 4 (中学1・2年生レベル)

- ・ 2007年改訂教育課程にそって番組が作られており、使われている題材が一般的な主題に関する親近感が持てる内容の話や対話が多い。
- ・ 英語母語話者によるスキットが多い。
- ・ 韓国人講師による文法や語彙などの説明が Level 3 よりも詳しくなる。

Level 5 (中学3年生レベル)

- ・ 2007年改訂教育課程にそって番組が

作られており、比較的長い指示や説明を聞いて理解するような対話が多くなる。

質問紙調査の結果

「EBS English 放課後英語教室」を放課後学校のカリキュラムとして正式に取り入れているソウル近郊の小学校の84名の小学3年生(男子39名、女子45名)に質問紙調査を行った。その結果どの項目においても60~70%の児童が「EBS English 放課後英語教室」を高く評価していることが明らかになった。

日本においても教育格差が徐々に問題になりつつある。ゆえに、日本においても塾などに通わなくても英語が学習できる制度などを将来的には考えていくべきであろう。

なお、韓国の英語教育を幅広く理解するため、英語村や英語の教科書についての調査も行った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計8件)

「韓国の英語教育における格差とその対策」『東アジアへの視点 2014年3月号』17-25, カレイラ松崎順子 2013年

「ソウル英語村ブンナブキャンプのプログラム評価」『Review of Asian and Pacific Studies』38, 79-94, カレイラ松崎順子 2014年

「韓国の英語村の観光戦略」『観光&ツーリズム』18, 32-36, カレイラ松崎順子 2013年

「韓国の小学3年生の英語の教科書に付随したデジタル教材 ELEMENTARY SCHOOL

ENGLISH3 e-教科書の分析 Hi, friends!1
との比較 『CEIC 研究会論文誌』4, 90-96,
カレイラ松崎順子 2013年

「 Korean Educational Broadcasting
System English (EBS_e)のコーパス分析
Tok Tok English と Nonstop English の比較
」 『日本児童英語教育学会 (JASTEC)研究
紀要』31, 65-86, カレイラ松崎順子 2012
年

「英語村 in 韓国レポート」 『子ども英語ジ
ャーナル 8月号』, 25 - 27, カレイラ松崎順
子 2012年

「韓国の英語教育における韓国教育放送公
社 Korean Educational Broadcasting
System の果たす役割」 『2011年度 ICT 授業
実践報告書』33-42, カレイラ松崎順子
2012年

「韓国の大学修学能力試験対策講座 EBSi の
電子掲示板「コミュニティ」の使用実態調査」
『コンピュータ&エデュケーション』32,
53-58, カレイラ松崎順子 2012年

[学会発表](計11件)

韓国の英語教育における教育格差 放送
番組が果たす役割 - カレイラ松崎順子
外国語教育メディア学会 第52回全国研
究大会 2012年8月8日

Survey of Community of EBSi English
Programs, Junko Matsuzaki Carreira
38th Annual International Conference on
Language Teaching and Learning &
Educational Materials Exhibition 2012
年10月14日

韓国の大学修学能力試験対策番組 EBS の英語

講座に関する高等学校での調査報告 カレ
イラ松崎順子

第三回映画英語教育学会東日本支部大会
2012年11月25日

韓国の小学3年生の英語の教科書に付随した
デジタル教材「ELEMENTARY SCHOOL ENGLISH3
e-教科書」の分析 「Hi, friends!1」との
比較 カレイラ松崎順子
CIEC 春季研究会 2013 2013年3月23日

韓国の英語の教科書のデジタル教材から日
本が学べること カレイラ松崎順子
2013年 映画英語教育学会(AEM)第19回全国
大会 2013年8月6日

Analysis of English Digital Textbooks For
Korean Elementary School Students:
Compared To English Digital Textbooks For
Japanese Elementary School Students
Junko Matsuzaki Carreira
12th Annual Hawaii International
Conference on Education
2014年1月8日

Program Evaluation Of Seoul English
Village Pungnap Camp, Junko Matsuzaki
Carreira
2014 Hawaii International Conference on
Social Sciences
2014年5月30日

Evaluation of EBS English After-school
Program in Korea, Junko Matsuzaki Carreira
Asian Conference on Education (ACE 2014)
2014年10月30日

EBS English After-school Program for
Elementary Students, Junko Matsuzaki
Carreira

London International Conference on
Education (LICE-2014)
2014年11月11日

韓国の英語教育番組専門チャンネル EBS
English の「放課後英語教室」に対する小学
生の評価 カレイラ松崎順子
映画英語教育学会 (ATEM) 東日本支部第 5 回
大会 2014年11月30日

韓国の小学生対象の英語の教科書に付随す
るデジタル教材の分析 カレイラ松崎順子
執行 智子・宮城まなみ
第 134 回外国語教育メディア学会 (LET) 関東
支部研究大会 2015年6月13日

〔図書〕(計 1 件)

第 8 章 韓国における貧困と英語力の関係
EBS の挑戦 pp.158-171 言語と貧困
負の連鎖の中で生きる世界の言語的マイノ
リティ カレイラ松崎順子
明石書店
158-171

〔産業財産権〕

出願状況 (計 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

取得状況 (計 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

取得年月日 :

国内外の別 :

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

カレイラ松崎 順子 (CARREIRA Matsuzaki
Junko)

東京経済大学・現代法学部・准教授

研究者番号 : 40454186

(2) 研究分担者

()

研究者番号 :

(3) 連携研究者

()

研究者番号 :